回覧

厚生労働省

ダニ対策

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病など

に感染することがあります。

ダニに**咬まれない**ためのポイント！

- **肌の露出を少なくする**

  ⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

- **長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する**

  ⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

- **足を完全に覆う靴を履く**

  ⇒ サンダル等は避ける

- **明るい色の服を着る**（マダニを目視で確認しやすくするため）

＊ 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

＊ 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意

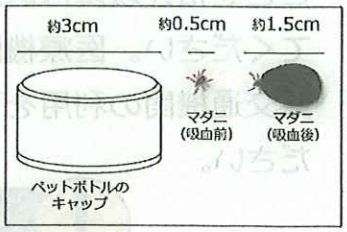
ダニに**咬まれたとき**の対処法

- **無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置**（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

- マダニに咬まれた後、**数週間程度は体調の変化に注意**をし、発熱等の症状が認められた場合は**医療機関で診察**を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください

平成29年４月

感染症対策

回覧

麻しん（はしか）にご注意ください

症　状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。２～３日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻しんかな？と思ったら

医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1 歳児、小学校入学前1 年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

！ 海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

今金町保健福祉課健康づくりグループ
電話 0137−82−2780

感染症対策課　2026年3月 作成